

女

Life of Japanese Women in Ukiyo-e

4.6(土) 2019
~5.26(日)

*会期中展示替えがあります

よそお

まとう

愛でる

たしなむ

身分とくらし

おんな



あそぶ

はたらく

家族をつくる

まなぶ

たのしむ

~浮世絵にみる女のくらし

渋谷区立 松濤美術館 THE SHOTO MUSEUM OF ART

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14 TEL 03-3465-9421 <https://shoto-museum.jp>

寶多川歌麿《教訓親の目録 理口者》(部分) 19世紀 東京都江戸東京博物館 4/6~5/1 展示

開館時間：午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)
*毎週金曜日は午後8時まで(入館は午後7時30分まで)
休館日：*臨時休館日にご注意ください
月曜日(ただし、4月29日、5月6日は開館)
4月23日(火)、5月2日(木・休)、7日(火)
入館料：一般1,000円(800円)、大学生800円(640円)
高校生・60歳以上500円(400円)
小中学生100円(80円)
*()内は団体10名以上及び渋谷区民の入館料
*土・日曜日・祝休日は小中学生無料 *毎週金曜日は渋谷区民無料
*障がい者及び付添の方1名は無料
主催：渋谷区立松濤美術館

*本展覧会の出陳作品には、18歳未満の方(高校生を含む)がご覧になれない作品が一部含まれます。

女おんなオナ

Life of Japanese Women in Ukiyo-e

～浮世絵にみる女のくらし～

浮世絵に描かれた女性というと、まず「美人画」を思い浮かべるのではないのでしょうか。確かに、江戸時代、女性は鑑賞され、美しく描かれる対象でした。しかし、そうした彼女たちにも人生があり、生活がありました。この展覧会では、江戸時代に生きた女性たちの「くらし」の様相を、描かれたもの、記録されたものなどから探ります。公家・武家・農民・町人・商人・遊女など、多様な階層の女性たち。彼女たちが何を身にまとい、働き、学び、楽しみ、どのように家族をつくったのか。本展では10のテーマを設けて、美人画、着物、化粧道具、春画、教訓書、外国人の記録などから紹介します。

【特別講演会】

「錦絵に描かれた女たち、描かれなかった女たち」

講師：石上 阿希氏(国際日本文化研究センター 特任助教)

4月14日(日) 午後2時～ 地下2階ホール

*無料(要入館料) *定員80名 *当日午後1時30分から整理券配布

【ワークショップ】

「紋切りあそび」

折りたたんだ色紙を切り抜いて、花や家紋などのいろいろな文様をつくります

4月28日(日) 午前11時～午後3時 地下2階ホール

*無料(要入館料) *自由参加 *材料がなくなり次第終了 *作業時間:約20分

【和妻～日本の伝統手品】

出演：北海 翼(手品師)

5月11日(土) 午後1時～/午後3時～

各回約30分 地下2階ホール

*無料(要入館料) *各回定員80名(定員になり次第締切)

*事前予約の必要はありません



【学芸員によるギャラリートーク】

4月20日(土)、5月12日(日)、17日(金) 各日午後2時～約30分

*無料(要入館料) *事前予約の必要はありません

【館内建築ツアー】

白井晟一設計の美術館建築を職員がご案内します

4月12日(金)、19日(金)、26日(金)

5月3日(金・祝)、10日(金)、17日(金)、24日(金) 各日午後6時～約30分

*無料(要入館料) *各回定員20名 *事前予約の必要はありません

次回展覧会のご案内

「華めく洋食器 大倉陶園100年の歴史と文化」
2019年6月8日(土)～7月28日(日)



アクセス
京王井の頭線神泉駅下車徒歩5分
JR・東京メトロ・東急電鉄 渋谷駅下車徒歩15分

渋谷区立 松濤美術館
THE SHOTO MUSEUM OF ART

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14 TEL 03-3465-9421 https://shoto-museum.jp



主な展示作品

- 1 《鏡台》19世紀 伊勢半本店 紅ミュージアム
- 2 歌川豊国(三代)《江戸名所百人美女 尾張町》
19世紀 東京都江戸東京博物館 4/6～5/1展示
- 3 懐月堂安度《立美人図》17～18世紀
(公財) 摘水軒記念文化振興財団 5/3～26展示
- 4 喜多川歌麿《料理をする母娘》
18世紀 神奈川県立歴史博物館 4/6～5/1展示
- 5 歌川豊国(三代)《江戸名所百人美女 溜いけ》
19世紀 公文教育研究会 5/3～26展示
- 6 溪斎英泉《新板娘庭訓出世双六》
19世紀 東京都江戸東京博物館
- 7 喜多川歌麿《歌満くら》(部分) 18世紀 浦上満氏 4/24～5/9展示

